

研究構想シート		学校名	津和野町立青原小学校
		氏名	久保田 知乃
A 研究主題 対話的に学び合い、考えを広げる授業づくり ～聴こう・考えよう・伝えよう～			
B 研究の目的			
C 子どもの実態	E 手立て・内容（研究仮説）		D めざす子どもの姿
	F 検証方法		
	G 研究計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校のため、学年に関係なくかわりあう姿があり、お互いの性格や得意、不得意をよく知っている。 ・何事にも素直に、一生懸命に取り組む姿がある。 ・自発的に行うには一歩踏み出せないことがあるが、やると決まっていることには真面目に取り組む。 ・校内アンケート「友達の話を聞いたり話したりすると色々な考えがもてると思う」という問いについて97%の児童が肯定的に答えている。その理由としては「色々な考えを知ることができる」「友達同士で解決するのが楽しい」等となっている。話し合っただけで学びの気持ちは高まっているが、自分の気持ちを自分の言葉で相手に伝えるときには戸惑う児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話によって考えを広げる場面を意図的に取り入れる。ねらいやつけたい資質・能力を最もつけたい場面で対話を取り入れる。研究授業後の研究協議では、その場面をどこに設定していたのか協議する。 ・授業後に子どもたちによる学習の振り返りを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○まなぶ子 自分の考えをもち、豊かに表現できる子ども ・楽しく学ぶ子 ・基礎学力のある子 →問題解決する力を育む ○たかめあう子 自他の良さに気づき、認め合い高め合う子ども ・人権感覚を身につけ、自己肯定感情が高くもてる子 ・合意形成力のある子 →対話する力を育む ○きたえる子 めあてをもち、継続的に心身を鍛える子ども ・自己コントロールができる子 ・運動に親しみ、体を動かす子 →挑戦する力を育む
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の最後に振り返りを行い、学習中の子どもの変容を見取る。 ・アンケートの記述を基に、1年間の子どもの変容を見取る。 			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの実態、目指す姿、手立てを職員全員で考える。 2. 1学期の授業研修（1人1授業の公開） 3. 夏季休業中 職員研修 4. 2学期の授業研修（1人1授業の公開） 5. 2学期の授業研修（1人1授業の公開） 6. 校内研究の振り返り 子どもの実態やついた力等、成果と課題をまとめる。 7. 来年度への見通しをもつ。 			